

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 正文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 加藤 明美

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 0766-26-2404

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	49,498	△16.1	1,273	△46.1	926	△44.3	407	△59.6
21年3月期第2四半期	58,982	—	2,362	—	1,662	—	1,008	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3.50	—
21年3月期第2四半期	8.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	141,006	50,932	36.1	436.84
21年3月期	145,695	50,540	34.7	433.45

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 50,884百万円 21年3月期 50,491百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—	3.00			
22年3月期 (予想)			—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△9.3	2,500	△15.7	1,800	△0.9	800	26.5	6.86

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 116,654,883株 21年3月期 116,654,883株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 171,114株 21年3月期 166,963株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 116,485,393株 21年3月期第2四半期 116,520,459株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋口以降の米国発金融危機を契機とする世界的な景気後退を受けて輸出産業を中心に急激な需要の縮小に見舞われ、一部輸出産業に回復の兆しがみられたものの、設備投資の減少や雇用情勢の悪化による個人消費の低迷など、本格的な景気回復には程遠い状況が続きました。

紙パルプ業界におきましても、企業収益の悪化の影響を受けての広告減少が続くなど依然景気回復の動きがみられず、輸入紙の増加とも相俟って、紙・板紙の需要は第2四半期連結累計期間を通して低い水準で推移しました。このため、こうした需給バランス悪化に対応して、各社において生産調整などの取り組みを続けております。

このような状況下で当社グループは非常事態宣言のもと、「低操業下でも収益の出せる企業体質の実現」に向けて、需要に見合った最適生産体制の確立や役員報酬のカットを始めとするコスト削減対策など全社グループ挙げて様々な取組みに挑戦しております。しかしながら予想を超える販売数量の減少や減産によるエネルギー効率の悪化などの影響が大きく、前年同四半期との対比ではいずれも減収、減益となりました。当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

連結売上高	49,498 百万円	(前年同四半期比 16.1%減)
連結営業利益	1,273 百万円	(前年同四半期比 46.1%減)
連結経常利益	926 百万円	(前年同四半期比 44.3%減)
連結四半期純利益	407 百万円	(前年同四半期比 59.6%減)

(2) 事業の種類別セグメントの概況

(紙・パルプ及び紙製品製造事業)

◎一般洋紙

印刷情報用紙の販売は、未曾有の需要減退の影響が出始めた前年度後半と比較すると若干の回復は見られたものの、チラシやカタログ、パンフレット等の商業印刷向け塗工紙等の需要は依然として低調に推移しており、数量、金額とも前年同四半期と比較し大幅に減少しました。

新聞用紙の販売は、広告出稿減少等による页数減が依然として続き、数量、金額とも前年同四半期と比較し減少しました。

◎包装用紙

包装用紙の販売につきましては、前年度後半と比較すると回復基調にありましたが、前年同四半期の水準まで回復するには至らず、数量、金額とも減少しました。

◎特殊紙・板紙及び加工品等

壁紙、カップ用原紙などの特殊紙につきましても、前年度後半からの需要回復が見られず、数量、金額とも減少しました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	47,530 百万円	(前年同四半期比 16.0%減)
連結営業利益	1,018 百万円	(前年同四半期比 52.1%減)

(その他の事業)

各業種の在庫調整による運送取扱数量の減少や、企業収益悪化に伴う設備投資意欲の減退など、景気の先行き不透明感の影響を受け、運送事業、建設事業とも大幅な減収となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	1,968 百万円	(前年同四半期比 18.8%減)
連結営業利益	210 百万円	(前年同四半期比 3.4%減)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

売上高の減少に伴い受取手形及び売掛金が 3,492 百万円、需要の減退に伴う在庫圧縮により商品及び製品が 846 百万円減少したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて 8.9%減少し、42,867 百万円となり、長期繰延税金資産が 982 百万円減少したことなどにより、固定資産は 0.5%減少し、98,139 百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 3.2%減少し、141,006 百万円となりました。

(負債)

短期借入金が 413 百万円減少したことなどにより流動負債は、前連結会計年度末に比べて 0.4%減少し、65,188 百万円となり、長期借入金が 2,323 百万円、社債が 2,000 百万円減少したことなどにより固定負債は、16.2%減少し、24,885 百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 5.3%減少し、90,073 百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 0.8%増加し、50,932 百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が 335 百万円増加したことなどによります。また自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ 1.4%増加し 36.1%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 8 月 4 日付にて発表しました業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日発表の別紙「特別損失の発生および平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異、通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第 2 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法のうち、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983	2,563
受取手形及び売掛金	21,672	25,164
有価証券	9	14
商品及び製品	9,055	9,901
仕掛品	786	798
原材料及び貯蔵品	5,298	5,587
その他	4,089	3,067
貸倒引当金	△29	△20
流動資産合計	42,867	47,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,356	46,864
減価償却累計額	△25,649	△25,085
建物及び構築物(純額)	21,707	21,779
機械装置及び運搬具	238,862	234,106
減価償却累計額	△182,877	△178,725
機械装置及び運搬具(純額)	55,985	55,381
その他	14,356	14,732
減価償却累計額	△2,057	△1,958
その他(純額)	12,298	12,773
有形固定資産合計	89,991	89,934
無形固定資産		
無形固定資産合計	162	192
投資その他の資産		
投資有価証券	5,924	5,353
その他	2,179	3,256
貸倒引当金	△118	△117
投資その他の資産合計	7,985	8,491
固定資産合計	98,139	98,618
資産合計	141,006	145,695

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,676	12,710
短期借入金	42,674	43,087
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
未払法人税等	152	114
賞与引当金	670	683
その他	7,014	6,876
流動負債合計	65,188	65,472
固定負債		
社債	2,000	4,000
長期借入金	17,952	20,276
退職給付引当金	4,145	4,210
負ののれん	189	222
その他	597	973
固定負債合計	24,885	29,683
負債合計	90,073	95,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,654	14,654
利益剰余金	18,570	18,512
自己株式	△41	△40
株主資本合計	50,443	50,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	440	104
評価・換算差額等合計	440	104
少数株主持分	48	48
純資産合計	50,932	50,540
負債純資産合計	141,006	145,695

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	58,982	49,498
売上原価	47,028	39,559
売上総利益	11,953	9,938
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,169	2,687
販売手数料	3,635	3,358
保管費	881	811
その他	1,904	1,807
販売費及び一般管理費合計	9,591	8,664
営業利益	2,362	1,273
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	95	71
負ののれん償却額	35	33
その他	146	113
営業外収益合計	284	222
営業外費用		
支払利息	422	408
支払補償費	420	-
その他	142	160
営業外費用合計	984	569
経常利益	1,662	926
特別利益		
退職給付引当金戻入額	194	-
投資有価証券売却益	-	19
その他	9	-
特別利益合計	203	19
特別損失		
固定資産除却損	181	189
特別退職金	28	40
その他	19	4
特別損失合計	229	233
税金等調整前四半期純利益	1,637	712
法人税、住民税及び事業税	114	116
法人税等調整額	509	188
法人税等合計	623	304
少数株主利益	5	0
四半期純利益	1,008	407

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	30,178	24,407
売上原価	23,689	19,201
売上総利益	6,488	5,206
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,630	1,333
販売手数料	1,538	1,646
保管費	583	410
その他	973	907
販売費及び一般管理費合計	4,725	4,297
営業利益	1,762	909
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	1	2
負ののれん償却額	4	16
その他	80	70
営業外収益合計	88	90
営業外費用		
支払利息	211	199
支払補償費	199	-
その他	103	121
営業外費用合計	514	320
経常利益	1,336	679
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	-
投資有価証券売却益	-	19
その他	0	-
特別利益合計	6	19
特別損失		
固定資産除却損	179	67
特別退職金	12	9
その他	18	2
特別損失合計	210	79
税金等調整前四半期純利益	1,132	619
法人税、住民税及び事業税	42	82
法人税等調整額	413	131
法人税等合計	456	214
少数株主利益	1	0
四半期純利益	674	404

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,637	712
減価償却費	4,900	5,149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,806	△64
受取利息及び受取配当金	△102	△74
支払利息	422	408
有形固定資産除却損	72	13
売上債権の増減額(△は増加)	1,011	3,492
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,539	1,145
その他の資産の増減額(△は増加)	297	△468
仕入債務の増減額(△は減少)	808	△34
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△12
その他の負債の増減額(△は減少)	790	△571
未払消費税等の増減額(△は減少)	△235	49
その他	△23	444
小計	4,234	10,198
利息及び配当金の受取額	102	75
利息の支払額	△429	△411
法人税等の支払額	△126	△73
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,781	9,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,021	△5,388
有形固定資産の売却による収入	7	3
投資有価証券の取得による支出	△48	△18
投資有価証券の売却による収入	-	29
貸付金の純増減額(△は増加)	821	18
その他	190	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,050	△5,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,920	253
長期借入れによる収入	3,890	2,400
長期借入金の返済による支出	△5,139	△5,389
社債の償還による支出	-	△2,000
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△348	△348
少数株主への配当金の支払額	△4	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	314	△5,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39	△579
現金及び現金同等物の期首残高	1,392	2,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,431	1,983

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	紙・パルプ及び 紙製品製造事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	56,558	2,423	58,982	—	58,982
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	9,163	9,217	(9,217)	—
計	56,612	11,586	68,199	(9,217)	58,982
営業利益	2,124	218	2,342	20	2,362

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	紙・パルプ及び 紙製品製造事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	47,530	1,968	49,498	—	49,498
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	8,366	8,367	(8,367)	—
計	47,530	10,334	57,865	(8,367)	49,498
営業利益	1,018	210	1,228	45	1,273

(注) 1. 事業の区分は、製品の製造方法の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分の主な製品

(1)紙・パルプ及び紙製品製造事業……紙、パルプ、紙加工品 他

(2)その他の事業……………造林、緑化、木材チップ、ビル賃貸、不動産管理、運送、
機械設備設計施工(修理)、建設施工、工業薬品、紙断裁、
保険代理 他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）において、海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1)表示方法の変更

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成21年4月1日
 至 平成21年9月30日)

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業外費用に区分掲記しておりました「支払補償費」は、営業外費用の100分の20以下となったため、当第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しております。なお、当第2四半期連結累計期間における営業外費用の「その他」に含まれる「支払補償費」は29百万円です。